

産衛だより

平成 19 年度第 1 回理事会議事録

日 時：平成 19 年 6 月 2 日（土）13：00～17：00

場 所：公衆衛生協会ビル 3 階会議室

出席者：清水英佑（理事長）、相澤好治（副理事長）、植本寿満枝、圓藤吟史、大久保靖司、大前和幸、岡田 章、加地正伸、岸 玲子、清田典宏、日下幸則、車谷典男、河野啓子、小林章雄、齊藤政彦、實成文彦、諏訪園靖、角田 透、昇淳一郎、東 敏昭、広瀬俊雄、福光ミチ子、藤田雄三、芳原達也、堀江正知、本橋 豊、吉田勉（以上理事）、大本美彌子、佐藤章夫（監事）

欠席者：萩野景規、高橋英尚、土肥誠太郎、

理事 27 名（委任状あり萩野景規、高橋英尚、土肥誠太郎）が出席しているので、定款第 25 条により理事会が成立していることを確認した。

清水理事長の挨拶の後、大前総務担当理事の進行役で会議が進められた。

議事録署名人に堀江正知、本橋 豊の両理事が指名された。

審議事項

1. 前回平成 18 年度第 4 回理事会議事録は、審議 9. の学会倫理指針の第 1 章 1 を第 1 章 1-3 に訂正して了承された。
2. 名簿発行について：大久保総務担当理事より、掲載内容は前回と同じで委員会・研究会・地方会を載せ、雑誌に FAX 用紙を入れて掲載の可否の問い合わせを会員にすることとした。また、取扱規程を作成して次回理事会で決めることとした。
3. 石綿問題検討委員会提案について：相澤副理事長より、厚生労働省に対して要望書「兵庫県尼崎市クボタ旧神崎工場労働者に発生した石綿関連疾患に関する疫学調査の実施について」を出すこと、タイトルおよび株式会社クボタの産業界にも知らせてはどうか等について委員会で協議してメールで承認をえることとした。
4. 就業規則について：大前総務担当理事より、次回以降に案を議論することにした。
また、8 月末までに意見を大前理事にメールで出してもらうこととした。
5. 改善勧告書について：圓藤経理担当理事より、4 月 20 日に厚生労働省に提出したが、地方会、部会、委員会等を含めると内部留保が大きすぎるので次期繰越金は積立金として処理してほしいとの要望があり了承された。
6. 日本医学会がかつての戦争に荷担したことについて：清水理事長より、西山勝夫代議員（滋賀医大）より検討依頼があり提出された。説明後、意見を求めたが特に意見はなく、今後意見のある方はメールで理事長まで提出いただくこととした。
7. 産業界保健部会幹事について：藤田理事より部会総会で推薦された幹事の推薦があり、了承された。
8. 産業界看護部会幹事について：河野理事より幹事の推薦があり、了承された。また、事業計画の提出があり、了承された。
9. 特定健康診査、特定保健指導に関して、産業界医務における位置づけについて：
 - ①岡田理事・齊藤理事より、産業界医会として「特定健康診査、特定保健指導に関して、産業界医務における位置づけ—日本産業界衛生学会産業界医会としての意見」が提出された。産業界医務は、安全衛生規則と法律により行っているが、産業界医としての位置づけ等について早急にまとめて雑誌・HP に掲載してほしいとの提案があった。
 - ②産業界看護部会河野部会長より「特定保健指導における日本産業界衛生学会登録産業界看護師の活用について」を厚生労働大臣宛に提出してほしい旨の提案があった。
 - ③堀江理事より、労働衛生関連法制度検討委員会の検討結果として「就労者を対象とする特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する意見書（案）」が厚生労働大臣宛に理事長より提出してほしいとのカバーページを付けて提出された。
- ①については部会意見として HP に掲載することに問題はないと了承された。
- ②と③については、両者とも厚生労働大臣宛であるので表現を統一し、1 本化していただく。なお 3 月に学会意見を出した日本公衆衛生学会の例が出され、時機を遅らせずに、省令改正前に専門学会としての意見をとりまとめて出すこと、それに意義があるとする意見が大勢で、理事会として反対意見はなかった。しかし文章そのものは一層練り上げる必要があるため、作業にあたっては、WG を立ち上げメールで検討することとなった。WG 委員として、岡田産業界担当理事、土肥労働界担当理事、相澤厚生労働省担当理事、産業界医部会から齊藤理事、産業界看護部会から河野理事、堀江法制度委員会担当理事、基本問題検討委員会委員がそれに加わるようになった。法制度上の問題であるので 3 週間（1 週目は各委員の意見、2 週目は法制度委員の意見、3 週目に各理事全員の意見）を目処に早急に意見を纏めることとし、案文を理事会に提出した労働衛生関連法制度委員会担当の堀江理事がとりまとめ作業を開始することになった。
10. 功労賞推薦について：大前総務担当理事より選考細則について河野・本橋・土肥の 3 理事による功労賞選考委員会で検討してはとの提案があり了承された。尚、細則を検討の上、提出いただき、10 月の理事会で決定後、改めて推薦締切日を決めることとした。他の推薦締切日は従来通り 8 月末とした。
11. DB 及び HP 改修・開発について：大久保理事より会員管理の修正、選挙システムのベースは開発済みであるが地方会・全国選挙等の検討を行う為コストに関しても検討していくこととした。
12. 全国協議会（2009 年）について：本来の東京での開催の後、松山（2008 年）、東北地方会（2009 年）、北海道

(2010年)の予定で検討してもらうこととした。

13. 次回理事会開催日について：平成19年10月6日(土)に13時から公衛ビル3階会議室で開催することとした。

報告事項

- 第80回日本産業衛生学会について：圓藤企画運営委員長より、学会は2,670名(学会員2,086名,非学会員584名)特別研修会は438名(学会員311名,非学会員127名)の参加があり盛会であった、との報告があった。
- 第81回日本産業衛生学会について：岸企画運営委員長より平成20年6月24日(火)～27日(金),特別研修会6月28日(土),会場「札幌コンベンションセンター」でメインテーマ「人間らしい労働」と「生活の質」の調和「働き方の新しい制度設計を」で開催するとの報告があった。
- 業務担当理事について：大前総務担当理事より前回決めたことの確認があった。
- 産業医部会報告について：岡田理事より平成18年度会計報告,第16回全国協議会参加者491名であったこと,第4回産業医・産業看護・産業衛生技術部会合同セミナーの報告があった。
- 産業看護部会報告について：河野理事より産業看護師が1,240人に増えたことの報告があった。
- 産業技術部会報告について：堀江理事より第16回大会を平成19年11月に神戸市で開催するとの報告があった。
- 専門医制度委員会報告について：東理事より登録者数(指導医259人,専門医131人,研修登録医415人)の報告と19年度専門医試験の奨励の要望があった。日本語名について正式に学会で名称を決める必要があるとの報告があった。
- 会員の状況について：大前総務担当理事より正会員7,377人(5月22日現在)の報告があった。
- 協賛・後援等について：大前総務担当理事より<第11回日本医療情報学会春季学術大会・協賛><第29回ME技術講習会・協賛><第39回産業医学講習会・主催><第24回エアロゾル科学・技術研究討論会・共催><第29回第2種ME技術実力検定試験・協賛><第13回ヒ素シンポジウム・協賛><第27回医療情報学連合大会・協賛><第35回産業医学講習会・後援>をしたとの報告があった。
- その他
 - 研究会世話人交代について：大前総務担当理事より産業疲労研究会代表世話人が近藤雄二氏から城憲秀氏(中部大学)に交代したとの報告があった。
 - 第1回アジア産業看護学術集会について：河野理事よりHPを開設したとの報告があった。集会は2008年2月23日と24日に開催予定である。
 - ACOHに関する報告と計画案について：日下理事よりメンバーは団体会員のみで個人会員は募ってない,理事長・副理事長・書記は理事(各国の学会代表)の相互選出からなる,学会事務局は置いてないとの報告があった。日本産業衛生学会会費は2004年から未納であるので

2008年大会の当日確認して支払うこととした。

- ④臨床研修指導医セミナーについて：日下理事より慈恵医大・大阪医大・愛知医大の参加者フォローアンケートの報告があった。
- ⑤統計法について：車谷理事より統計法の改定に伴い2009年5月から国の統計資料の利用の自由度が広がる可能性がある,については日本公衆衛生学会・日本衛生学会・日本疫学会などの関連学会と調整し,要望をとりまとめて担当課と話をするのがよいので小林理事が関連学会との窓口となることが了承された。
- ⑥中小企業における労働衛生管理に係わる法制度等に関する提案書について：次回理事会で審議することとした。
- ⑦各議事録の学会誌掲載について：広瀬理事より前理事会会で掲載に関するルールについて基本問題検討委員会預かりとなったがどうなったかの質問があった。「継続審議中」との回答があり,当面は,メールによる理事への回覧とし,公表に支障があるような際は,その部分は差し控え,「問題無し」の場合は,公開(投稿)とすることとなった。
- ⑧ICOH2015年開催について：東理事より日本での開催についてどうするのかは次回理事会会で検討することとした。
- ⑨春と秋の大会について：斉藤理事より4部会で来年秋の名称も含めて検討することとした。

平成19年度第3回専門医制度委員会議事録

- 日時：平成19年8月26日(日)15時40分～17時
- 場所：オンワード総合研究所 人財開発センター
- 出席者：委員長：山田誠二,委員(五十音順)：石竹達也,杉本寛治,広瀬俊雄,宮下和久,武藤孝司,森晃爾(事務局),顧問：大久保利晃,オブザーバー：東 敏昭(学会担当理事)

委員長より冒頭で,財団法人労働衛生会館からの専門医試験への協賛に対して,謝意が示された。

4. 議事

I. 報告事項

- 平成19年度(第15回)専門医資格認定試験結果について
 - 筆記試験部会

全員合格と判定された。

基本的知識を試すA問題の成績が全般に低く,総合点で評価を行った。
 - 口頭試験部会

2名が不合格と判定された。

見本として受験者に示されている内容がそのまま書き写されている研修手帳が,昨年にも続きあった。研修手帳は本人の研修に基づいて書かれるべきものであるという注意書きを作成して,来年度の募集に際して,特に注意すべきこととして通知することになった。

受験者の一人が、改訂された新しい形式の研修手帳のフォーマットを使用しており、従来の研修の評価方法と異なるため、評価の方法について整合性がつきにくいとの指摘があり、少なくとも全体が移行する迄は、旧式の研修手帳も合わせて用意し、受験者の研修状況の判断に平等に努めるべきとの要望が出され、そのように対応することが確認された。

2. 指導医・専門医・研修医登録状況について（資料 2007-31）
前回の委員会での認定状況を受けて追加した状況の報告があった。平成 19 年 8 月 20 日現在、指導医 277 名、専門医 108 名、研修登録医 422 名。
3. 第 17 回 産業医・産業看護全国協議会（東京）における専門医認定証授与式について（資料 2007-33）
11 月 3 日（土）18 時から東京プリンスホテル、B 会場 マグノリアホールで授与式を開催することになった。
理事長の出席、および企画運営委員会からの記念品を依頼済みであることが事務局から報告された。

II. 審議事項

1. 平成 19 年度（第 15 回）専門医資格認定試験合否について（資料 2007-32）
受験者 27 名のうち合格 25 名、不合格 2 名を承認した。
2. 平成 20 年度 専門医資格認定試験実施日程について（資料 2007-34）
8 月 23 日（土）・24 日（日）に資格認定試験を実施することになった。
また、認定証授与式は、第 18 回産業医・産業看護全国協議会（愛媛）の場で行われる予定であることが確認された。
3. 指導医資格更新の合否について（資料 2007-35）
「経過措置による指導医」第 7 期（No.341-357）の 2 回目更新の保留者 7 名について
 - ・ 3 名の経過措置による指導医としての更新を承認した。
 - ・ 2 名の専門医に変更することの申請を承認した。
 - ・ 1 名の保留者については、事務局が 9 月末までに返事を求めることになった。
 - ・ 1 名については、本人から辞退の連絡があった。

4. 専門医資格認定試験受験資格内規について

「専門医制度に関する規則」第 10 条第 4 項「産業保健に関する研究の実績があり、その成果が学会の学術集会又は機関誌で本人により 1 回以上発表されていること」に関する解釈について、以下のとおりの内規を承認した。

「ここでいう学会の学術集会とは、総会および産業医・産業看護全国協議会を指します。また学会地方会における発表は 2 回で総会 1 回と同等と見なします。また、機関誌とは、産業衛生学会誌および Journal of Occupational Health を指します。学会発表、機関誌とも、いずれも第一著者である必要があります。」

5. その他（次回委員会開催について）

平成 20 年 1 月 27 日（日）13 時から東京駅付近で開催予定。当日の主要議題は、経過措置による指導医の更新（103 件）である。

平成 19 年度新入会者

[秋田] 鈴木信雄 [山形] 佐藤 顕 [福島] 片平美恵子、國分衛、中西由美 [茨城] 河本さおり、小西典子 [埼玉] 神山多恵子、榮 兼作、澤井浩子、高橋 明 [千葉] 上保文子、山崎伸子、渡邊美幸 [東京] 石井久美子、植松里子、大原博美、岡崎由希子、香川みよ子、鎌田 寛、幸山 正、小薬理絵、小林靖、近藤紀之、先瀬信成、佐藤ひろみ、渋谷英雄、高橋千香、竹田津陽子、田部井美也子、辻 正弘、橋本賢一、広瀬 寛、松崎 弦、三木哲夫、三橋健次郎、山田耕平 [神奈川] 秋谷泰男、黄金井敏美、小杉さつき、小山真理子、斉藤 新、田口理恵、野村素子 [石川] 大倉美佳、表志津子、橋場朋美、人見嘉哲 [愛知] 寺澤知彦 [三重] 任 剛 [大阪] 浦本奈都子、清原達也、小西康三、長谷川裕香、北條佑佳、本田則子、家治多美子 [兵庫] 廣田充啓 [奈良] 山口和美 [和歌山] 川北智識、吉田俊香 [鳥取] 杉原千佳、福田真美 [岡山] 黒住和義、小谷怜名、平塚容子 [広島] 堀 匡 [山口] 飯塚尚敬 [愛媛] 岡本愛子 [福岡] 堀 輝 [長崎] 田中文子 [鹿児島] 沖田信夫、菊池慶子、山崎利夫